

# 宇宙飛翔体環境研究分科会報告

佐々木 進 (JAXA, ISAS)

臼井 英之 (京都大学 生存圏研究所)

岡田 雅樹 (国立極地研究所)

趙 孟佑 (九州工業大学)

中村 雅夫 (JAXA 総合技術研究本部)

宇宙利用、宇宙開発が益々盛んに行われるようになり、その手段である宇宙飛翔体の環境アセスメントが非常に重要になっています。また、宇宙天気研究に関連して、太陽からの高エネルギー粒子、フラックスによる宇宙飛翔体やシステムへの影響も定量的な理解が求められています。本研究会では、宇宙飛翔体環境に関して別々に行われている研究（材料物性工学、推進工学、電気電子工学、宇宙プラズマ物理学、宇宙電波工学など）を互いにつきあわせ、補い合うことにより、飛翔体と宇宙環境との関係を総合的に理解することを目的としています。また、今後は広く宇宙環境という枠組みで、宇宙天気研究との連携も深めていきたいと考えています。

これまで6回の分科会を開催し、いずれも多数のSGEPSS内外の研究者に参加していただきました。第3回は電気学会放電研究会に協賛、また第4回は「宇宙技術および科学の国際シンポジウム」(ISTS)の電気推進セッションに参加という形で、他学会との交流を積極的に進めていることも本分科会の特徴の一つです。第5回及び第6回は、宇宙インフラストラクチャ研究会、宇宙環境計測技術WGと共催でJAXA総合技術研究本部（筑波）において宇宙飛翔体環境研究会を開催しました。

第6回は15件の口頭発表があり、航空宇宙学会や電気学会など他学会からの参加者が多く、企業からの参加（三菱電機）もありました。今後も研究会を継続的に開催する予定であり、6月宮崎で開催される24th ISTS (International Symposium on Space Technology and Science)にもセッション参加します。また、2005年4月に筑波で開催される第9回衛星帯電国際会議(SCTC)にも全面協力します。

(<http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/spacecraft/>)



## これまでの分科会開催

第1回：平成11年11月25日

第2回：平成13年1月18日

第3回：平成14年1月31日

第4回：平成14年5月29日

第5回：平成14年11月29日

第6回：平成15年11月28日

第7回：平成16年6月1日

国立極地研究所

京都大学宙空電波科学研究センター

長崎大学工学部（電気学会放電研究会）

島根県民会館（松江）

「第23回宇宙技術および科学の国際シンポジウム」

(ISTS、日本航空宇宙学会)

JAXA 総合技術研究本部 筑波宇宙センター

JAXA 総合技術研究本部 筑波宇宙センター

宮崎県シーガイア

「第24回宇宙技術および科学の国際シンポジウム」

(ISTS、日本航空宇宙学会)